

## 第21回日本クラブユースサッカー選手権（U-15）大会

Bグループリーグ第3戦	天候 曇りのち晴 風 やや強 ピッチの状態 良	
<u>コンサドーレ札幌U-15</u> 42分 古田	$1 \begin{pmatrix} 0 & - & 1 \\ 1 & - & 0 \end{pmatrix} 1$	<u>大宮アルディージャ</u> 2分 苦木
シ ス テ ム		シ ス テ ム
4-4-2		4-4-2
<p>昨日のシェフ習志野戦に勝ったコンサドーレ。決勝トーナメントに進出するには、第1戦に大敗を喫したツケが得失点差-7として、重くのしかかる。絶対、勝つほかに道はないが、コンサドーレの奮起を期待したい。しかし、先制点は大宮。2分コンサドーレDF中山が体を入れたかに見えたが、強引に体を入れ替えられて、失点を許す。コンサドーレも5分、2本続けてのコーナーキックもチャンスとはならない。大宮のコーナーキックにマークの甘さをつかれ、危ない場面が何度かあるが、決定的場面は作らせない。28分大地のシュートも僅かに、ゴールを外れる。30分にも右から持ち込んだ古田が、左足で強烈なシュートを放つが、バーの上を越える。大宮も立ち上がりの1点以後、精細を欠いて前半が終了した。引き分けでは決勝トーナメント進出の望みが消えるコンサドーレは、DF菅原とFW小島に替えMF飯塚と三上を投入して、攻撃に出るフォーメーションで後半スタート。その積極策が功を奏したのか42分平井からのパスを受けた古田が、右サイドを鋭く切り裂き、GKとポストの間の狭いところを狙い、値千金の同点ゴールを決める。その後のコンサドーレ、ボールへの寄りは早くなってきたが、つなぎのパスの精度が低く、攻めきれない。10分を過ぎた頃から、大宮は早めにアーリークロスを入れ始める。センターバックの中山・羽石が必死にクリアをする。もう少し前線でボールを入れさせないディフェンスをしないと終盤息切れしそうな感じがする。</p> <p>63分大宮のコーナーキックにかぶったGK安田、大宮勝ち越しかと思われたが、中山が辛うじてクリア。決勝トーナメント進出に望みをつなく。68分古田の頑張りでコーナーキックのチャンスを迎えるも大宮ディフェンスに跳ね返される。終了間際、粘ってボールをつなぎ、大地が大宮ディフェンスを振り切り、勝ちを拾ったかと思ったシュートは、バーを超えて決勝トーナメントの夢は消えた。</p>		
戦評 加藤 孝俊		